

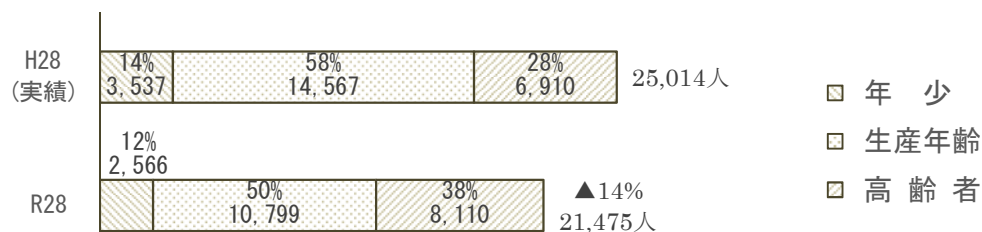
【概要】

① 地域概況、動向

- ・地域はJR寺尾駅南西側に位置し、駅周辺は市街地が形成され、西川の南は田園が広がっている。
- ・西区役所の周辺には様々な用途の公共施設が集積している。
- ・東西に幹線道路が伸びており、交通アクセスは比較的良好である。
- ・西区役所新庁舎が平成26年に開館した。また、庁舎整備に伴い坂井輪地区公民館・図書館をリニューアルした。
- ・児童数の増加が著しい新通小学校を分離し、R2に新通つばさ小学校を開校することを契機に周辺の公共施設を再編するため、R1.6に坂井輪地域実行計画を策定した。

② 将来推計人口【図-1】

- ・今後は人口減少、少子・高齢化が進む。



③ 利用状況、コスト状況及び施設の老朽状況【表-1】

施設種類	施設名	ハード		ソフト	
		老朽化が進んでいる	耐震性に課題がある	コストが高い	利用が少ない・面積が大きい
		償却率が75%以上か	耐震化率が50%未満か	コスト(※1)が類似施設の平均と比べ高いか	利用率(※2)が該当する類似施設の平均と比べ低いか 利用量(※3)が該当する類似施設の平均と比べ大きいか
⑤ ひまわりクラブ	新通ひまわりクラブ第1				
	新通ひまわりクラブ第2				
	新通ひまわりクラブ第3				
	坂井東ひまわりクラブ第1				
	坂井東ひまわりクラブ第2				
	新通つばさひまわりクラブ				
⑥ 子育て支援施設	坂井輪児童館	●	●	●	
⑦ 高齢者福祉施設	老人憩の家西川荘	●			
⑧ 保健福祉施設	坂井輪健康センター				
⑩ 保育園	坂井保育園	●			
⑪ 学校教育施設	新通小学校	●			
	坂井東小学校	●			
	新通つばさ小学校				
	坂井輪中学校	●			

※1 コスト評価の指標：純経費/利用者数…⑥⑦⑧、純経費/児童数…⑤⑪（小学校）、純経費/園児数…⑩、純経費/生徒数…⑪（中学校）

※2 利用率評価の指標：利用コマ数/利用可能コマ数…①⑧

※3 利用量評価の指標：㎡/児童数…⑤⑪（小学校）、利用者数/㎡/日…⑥⑦、㎡/園児数…⑩、㎡/生徒数…⑪（中学校）

④ 将来に向けた検討事項

坂井輪地域は、令和元年度に地域別実行計画を策定し、計画に基づき再編が実行されている。

（坂井輪地域実行計画は下記の通り）

坂井輪地域実行計画

【再編の実施時期】
新通ひまわりクラブの新通小学校校舎内移転や新通ひまわりクラブ第1の学校・地域利用は、新通つばさ小学校開校後に整備を行います。また、児童館機能の全体的なあり方検討を踏まえた坂井輪児童館の方針検討は短期的に、坂井保育園の民営化は中期的に取り組みます。今後の詳細検討や財政状況などにより、再編時期や内容については適宜見直しを行います。

【再編の実施時期】
新通ひまわりクラブの新通小学校校舎内移転や新通ひまわりクラブ第1の学校・地域利用は、新通つばさ小学校開校後に整備を行います。また、児童館機能の全体的なあり方検討を踏まえた坂井輪児童館の方針検討は短期的に、坂井保育園の民営化は中期的に取り組みます。今後の詳細検討や財政状況などにより、再編時期や内容については適宜見直しを行います。

【コンセプト】 子育て支援機能の集約化による機能・安全面の強化、民間活力による施設整備

【施設の概要】
●新通ひまわりクラブ第1、2、3を新通小余裕教室へ移転
●新通ひまわりクラブ第1の移転後は、施設を学校・地域利用で活用し、第2、3は解体・借地解消
●坂井保育園の民営化として、民間保育園を適地に誘致
●西川荘は高齢者の交流の場としての機能を既存施設で確保（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）

【効果】
●新通ひまわりクラブ第1、2、3が、校舎内に移転され、安全面が強化
●学校と地域の交流の場や地域利用により、地域の活性化や多世代共生・交流につながる
●適地移転により、送迎による渋滞解消や通学時の安全性向上、プール利用時の防犯面が強化され、民間活力導入により、休日保育などサービス拡充の可能性、コスト削減により財政負担が軽減が期待される
●利用の年齢制限がある高齢者の交流機能を公民館等に転移することで多世代交流が期待される

【坂井輪児童館】
●今後の全体的な児童館機能のあり方を検討し、方針を決定

【坂井輪児童館に関するWSなどの意見】
●民営化によりサービスが充実するのでは
●公民館や健康センターへ移転することで子育て相談が容易になるなど、利用しやすいのでは
●子育て相談機能の維持…など

短期的に再編を実施する施設の方針及びスケジュール

施設名	方針	年度				
		2019	2020	2021	2022	2023
新通小学校	教室の一部をひまわりクラブに転用		設計（新設/改修）	工事後、ひまわりクラブ転用	→	→
新通ひまわりクラブ第1	余裕教室へ移転 学校・地域利用			移転後、学校・地域利用	→	→
新通ひまわりクラブ第2	余裕教室へ移転			移転	解体借地解消	
新通ひまわりクラブ第3	余裕教室へ移転			移転	解体借地解消	

中期的に再編を実施する施設の方針

坂井輪児童館	継続検討	全体的視点による検討	方針決定	対策実施	→	→
坂井保育園	民営化	概ね10年後の民間保育園誘致に向けて、概ね5年後までに具体的なスケジュールを決定				

その他の施設の方針

新通小学校	存続	学校のあり方については、将来の児童生徒数の状況を踏まえながら、適切な時期に改めて地域と共に検討
坂井東小学校	存続	概ね20年後の施設の更新時期に合わせて、長寿命化や図書館・公民館との複合化などについて、適切な時期に改めて検討
坂井輪中学校	存続	概ね20年後の施設の更新時期に合わせて、長寿命化や図書館・公民館との複合化などについて、適切な時期に改めて検討
公民館・図書館	存続	概ね20年後の施設の更新時期に合わせて、長寿命化や中学校との複合化などについて、適切な時期に改めて検討
健康センター	存続	
区役所	存続	
西川荘	機能移転	高齢者の交流の場としての機能を既存施設で確保を検討（耐用年数を迎えても機能を維持できる間は存続）
坂井東ひまわりクラブ	存続	

【今後の進め方】
計画を実施するにあたって下記事項に配慮しながら再編を進めます。
●高齢者が今まで培ってきた技能や経験を地域に還元できる活躍の場
●運営面の工夫などにより、施設の複数用途での利用
●駐車場の確保
●身近な自治会館や空き家の有効活用

将来推計人口【表-2】（H28.9月末現在の住民基本台帳からの推計）

	H28(実績)	R8	R18	R28	増減（増減率）	
地域全体	25,014 人	24,333 人	23,132 人	21,475 人	▲3,539 人	▲14.1 %
高齢者（65歳以上）	6,910 人	7,207 人	7,462 人	8,110 人	1,200 人	17.4 %
生産年齢（15～64歳）	14,567 人	14,292 人	12,928 人	10,799 人	▲3,768 人	▲25.9 %
年少（14歳以下）	3,537 人	2,834 人	2,742 人	2,566 人	▲971 人	▲27.4 %

児童生徒・学級数推計（通常学級）【表-3】

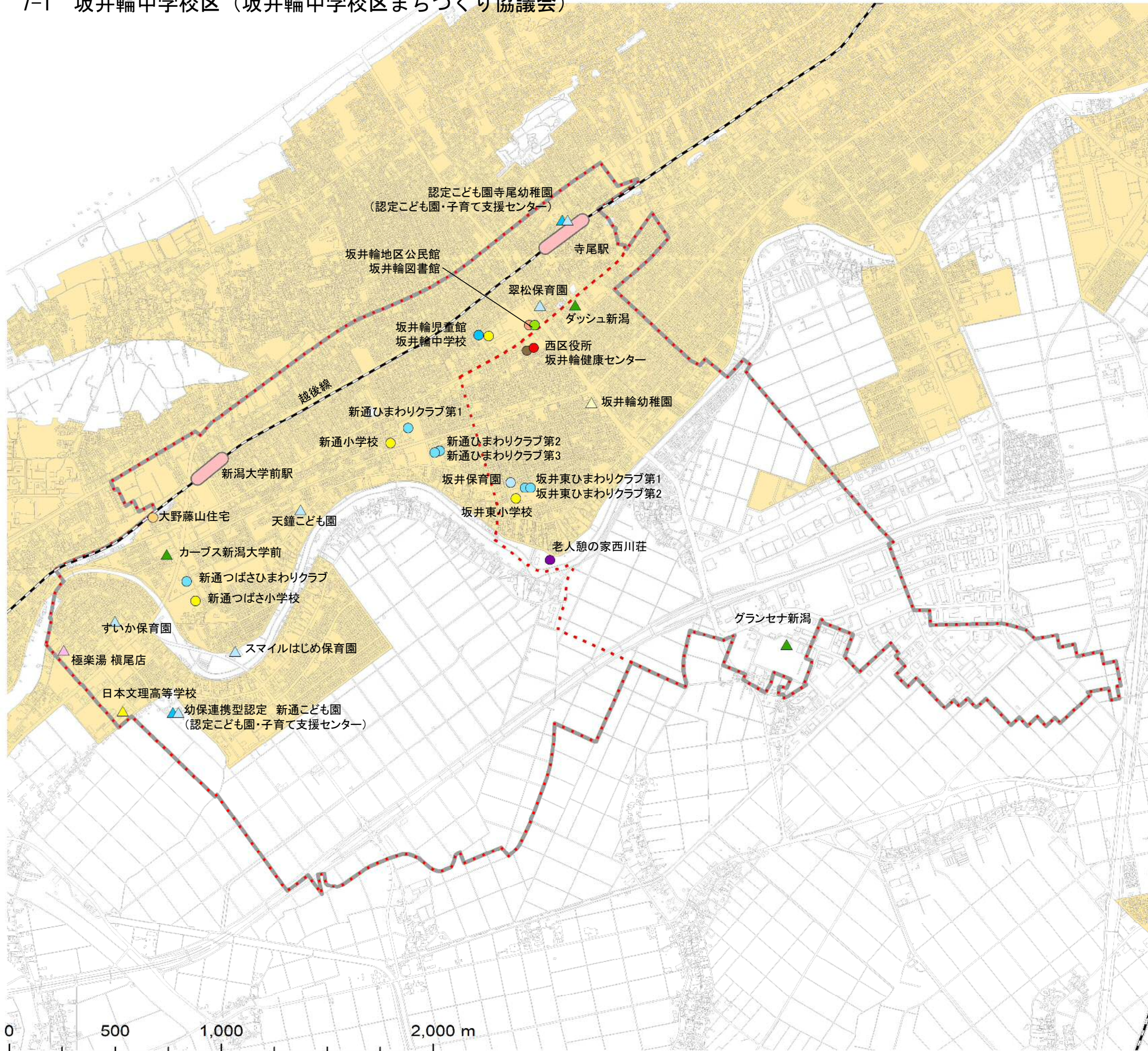
校名	R1（実数値）		R7（推計値）		増減	
	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
新通小学校	934	31	491	17	▲443	▲14
新通つばさ小学校	—（R2開校）	—（R2開校）	318	12	—	—
坂井東小学校	437	17	418	15	▲19	▲2
坂井輪中学校	666	20	661	21	▲5	1

※精査の結果、今後数値や図表などの記載事項が変更されることがあります。

7-1

7 西区

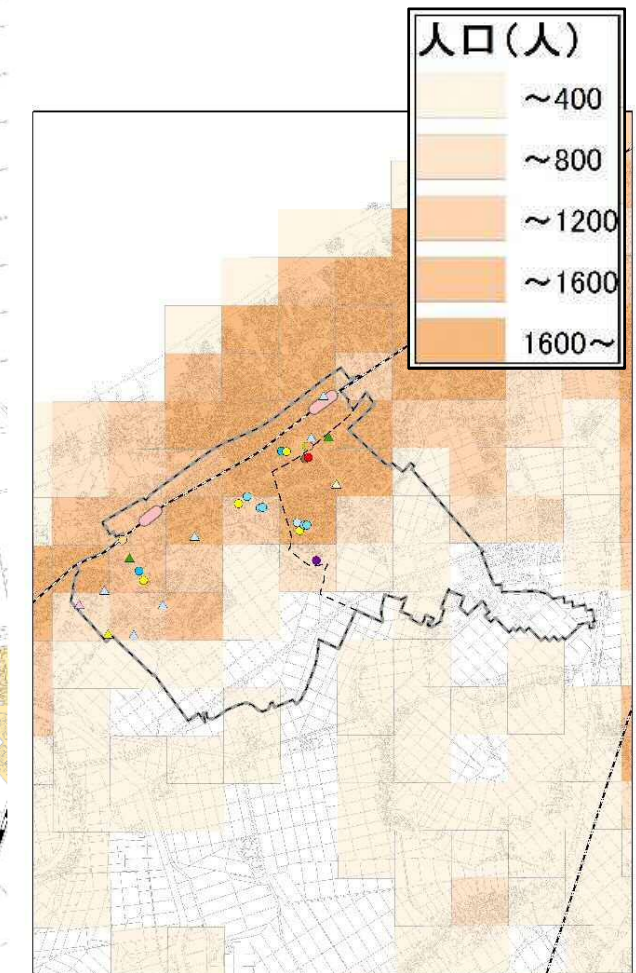
7-1 坂井輪中学校区 (坂井輪中学校区まちづくり協議会)



凡例

- コミュニティ系施設
 - 図書館
 - ひまわりクラブ
 - 子育て支援施設
 - 高齢者福祉施設
 - 保健福祉施設
 - 保育園
 - 学校教育施設
 - 公営住宅
 - 庁舎系施設
 - スポーツ施設(民間施設)
 - 子育て支援施設(民間施設)
 - 幼稚園(民間施設)
 - 保育園(民間施設)
 - 学校教育施設(私立)
 - 保養施設(民間施設)
- 小学校区
- 中学校区
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

平成27年国勢調査
人口分布図 (500mメッシュ)



※中学校区線・小学校区線は概図であり、細部については実際の通学区域と異なる場合があります。

7 西区

7-1 坂井輪中学校区（坂井輪中学校区まちづくり協議会）

■ 施設一覧【表-4】

施設分類	分析分類 ※1	施設名	施設基本情報							配置情報					コスト・利用情報					分析領域	
			圏域 区分	複合 施設	建築年	償却率 (%) ※2	耐震化 (%)	想定 更新 時期 ※3	使用面積 (㎡)	用途地域	コミュニティ 協議会	避難所 ※4	危険区域			コスト		利用率・利用量			
													土砂	津波	洪水	実績(全市平均)	偏差値	実績(全市平均)	実績(全市平均)		偏差値
ひまわりクラブ	L	新通ひまわりクラブ第1	Ⅲ. 地域		H18	55	100	R28	196.67	一種低層住居	坂井輪中学校区			○	10.7 万円/人/年 (14.7)	60.5	2.2 ㎡/児童数 (2.6)	-	54.5	1	
ひまわりクラブ	L	新通ひまわりクラブ第2	Ⅲ. 地域		H20	-	100	R30	183.84	一種低層住居	坂井輪中学校区			○	12.3 万円/人/年 (14.7)	56.2	2.3 ㎡/児童数 (2.6)	-	53.8	1	
ひまわりクラブ	L	新通ひまわりクラブ第3	Ⅲ. 地域		H28	-	100	R38	181.91	一種低層住居	坂井輪中学校区			○	11.3 万円/人/年 (14.7)	58.9	1.9 ㎡/児童数 (2.6)	-	57.8	1	
ひまわりクラブ		坂井東ひまわりクラブ第1	Ⅲ. 地域	3	H30	-	100	R40	186.32	一種低層住居	坂井輪中学校区										
ひまわりクラブ		坂井東ひまわりクラブ第2	Ⅲ. 地域	3	H30	-	100	R40	186.32	一種低層住居	坂井輪中学校区										
ひまわりクラブ		新通つばさひまわりクラブ	Ⅲ. 地域							一種住居	坂井輪中学校区										
子育て支援施設	M	坂井輪児童館	Ⅲ. 地域		S40 ~ S48	100	0	H21	182.11	一種住居	坂井輪中学校区				1,325.0 円/人/回 (836.5)	32.6	34.7 人/日 (67.5)	19.1 人/100㎡/日 (14.4)	57.4	3	
高齢者福祉施設	O	老人憩の家西川荘	Ⅲ. 地域		S56	91	100	R3	228.55		坂井輪中学校区				430.0 円/人/回 (952.1)	55.3	45.0 人/日 (51.8)	19.7 人/100㎡/日 (11.5)	62.9	1	
保健福祉施設	T	坂井輪健康センター	Ⅲ. 地域	1	H9	42	100	R39	1,173.24	一種住居	坂井輪中学校区			○	224.0 円/人/回 (3906.5)	55.2	135.6 % (59.6)	-	53.8	1	
保育園	K	坂井保育園	Ⅲ. 地域		S51 ~ S51	86	97	H28	718.78	一種低層住居	坂井輪中学校区				96.3 万円/人/年 (115.5)	56.0	6.4 ㎡/園児数 (9.2)	-	60.7	1	
学校教育施設	H	新通小学校	Ⅲ. 地域		S44 ~ H25	83	94	R11	8,965.63	一種低層住居	坂井輪中学校区	○		○	45.5 万円/人/年 (83.6)	58.8	9.1 ㎡/人 (24.4)	-	59.9	1	
学校教育施設	H	坂井東小学校	Ⅲ. 地域		S53 ~ H4	89	100	R20	6,399.88	一種低層住居	坂井輪中学校区	○			67.9 万円/人/年 (83.6)	53.6	14.2 ㎡/人 (24.4)	-	56.6	1	
学校教育施設		新通つばさ小学校	Ⅲ. 地域							一種住居	坂井輪中学校区										
学校教育施設	I	坂井輪中学校	Ⅲ. 地域		S40 ~ H16	88	100	R17	8,809.19	一種住居	坂井輪中学校区	○			66.9 万円/人/年 (91.6)	56.2	12.3 ㎡/人 (31.3)	-	60.0	1	
コミュニティ系施設	B	坂井輪地区公民館	Ⅱ. 区域	2	S54	65	100	R21	2,715.58	一種住居	坂井輪中学校区				771.0 円/人/回 (928.1)	51.2	44.7 % (26)	-	61.0	1	
図書館	D	坂井輪図書館	Ⅱ. 区域	2	S54	65	100	R21	919.20	一種住居	坂井輪中学校区				200.0 円/冊 (346.7)	55.3	6.0 倍 (1.9)	-	72.8	1	
庁舎系施設	P	西区役所	Ⅱ. 区域	1	H9 ~ H25	20	100	R39	5,061.43	一種住居	坂井輪中学校区	○		○	10,466.0 円/人 (17938.9)	53.3	19.4 ㎡/人 (38.5)	-	56.8	1	
公営住宅	-	大野藤山住宅	-		S55	85	96	R22	3,501.95	一種住居	坂井輪中学校区		○		-		-	-			

【記載の条件】 一覧表掲載情報は、令和2年4月1日現在で財産白書の対象施設を掲載しています。また、コスト・利用情報は、令和元年度財産白書別冊から引用しています。

※1 分析分類欄の英字は、施設のコスト、利用を比較する現状分析の分類を表し、「地域別検討資料について」の「表① 用途分類別分析指標と現状分析の分類」から引用しています。

分析分類欄が「空白」の施設は平成30年度以降に新設又は新規調査した施設であり、現状分析の対象とはならないものの参考として施設情報を掲載しています。

※2 償却率は「減価償却累計額/再調達価額×100」により算出しており、財産上の残存価値（耐用年数からの経過）の基準とし建物老朽化の目安としています。

※3 建替え想定時期は、鉄筋コンクリート及び鉄骨造を60年、木造及び軽量鉄骨造を40年と想定して算出しています。

※4 指定避難所を「○」印、補助避難所を「◇」印で表記しています。

■ その他の施設【表-5】

地域内の国県施設	該当なし
地域内の民間類似施設	認定こども園寺尾幼稚園（認定こども園・子育て支援センター）、坂井輪幼稚園、翠松保育園、スマイルはじめ保育園、すいか保育園、天鐘こども園、幼保連携型認定新通こども園（認定こども園・子育て支援センター）、極楽湯榎尾店、ダッシュ新潟、カーブス新潟大学前、グランセナ新潟、日本文理高等学校